

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設（1－76）、MOX 燃料加工施設（1－73）」

2. 日時：令和3年10月6日（水） 13時30分～14時55分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、岸野主任安全審査官、津金主任安全審査官、羽場崎

主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査専門職

日本原燃株式会社 村野 理事 再処理事業部副事業部長 他20名

東京電力ホールディングス株式会社 サイクル技術グループ

グループマネージャー

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門

原燃計画グループリーダー

九州電力株式会社 テクニカルソリューション統括本部

土木建築本部 原子力土木建築部長

中部電力株式会社 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 課長

東北電力株式会社 原子力本部 原子力部（原子力技術） 担当

電源開発株式会社 原子燃料室 上席課長

三菱重工業株式会社 原子力セグメント 安全高度化対策推進部

主幹プロジェクト統括 他1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和 2 年 1 2 月 2 4 日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html
- ・ 令和 3 年 9 月 1 4 日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和 3 年 9 月 2 2 日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設、濃縮施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和 3 年 1 0 月 1 日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設、濃縮施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	録音を開始しました。
0:00:04	当進行のほう、タケダさんですからお願いします。
0:00:09	はい、ありがとうございます。規制庁の武田です。それではただいまから、日本原燃株式会社ともヒアリングを開始します。
0:00:17	本日のヒアリングは例は2年12月に申請があった設工認申請について、
0:00:23	9月14日、20日、10月の1日に提出が正しいをもとに、事実困みを行うものになります。
0:00:34	植松規制庁側の出席者ですが、本庁からはどなたが出席でしょうか。
0:00:42	はい、規制庁カミデです。本庁側の出席者はカミデのみです。
0:00:49	はい、ありがとうございます。
0:00:51	WEBからの参加ばコサク。
0:00:55	キシノツガネ、ハバサキタケダ、以上になります。
0:01:01	それでは、日本原燃のほうから出席者の紹介と医大の構成の確認説明範囲と達成目標を説明してください。
0:01:13	はい。日本原燃の瀧野です。
0:01:17	本日の日本原燃の出席者ですが、事務局として再処理からナガサワAタカハシフジノ
0:01:24	MOXのほうからタカマツタニグチ、イトウヤマダ
0:01:28	ただ説明側として、トガシウラバヤシ、スガワラキョウダ、スギタホシノ
0:01:36	ハラダメキ、ツルタタナカ
0:01:40	イナズマ、それから三菱重工さんから高木様、それから九州電力の明石様本日のヒアリングに参加しております。
0:01:48	本日説明する資料ですが、今場面共有させていただいております。耐震建物05から全部で七つの資料の説明を予定しております。
0:01:59	いますけれども、耐震建物05の資料の説明から入らせていただきたいと思います。
0:02:07	規制庁の武田です。
0:02:10	それでははい耐震建物05のほうから説明をお願いいたします。
0:02:17	電源ついキョウダでございませぬ。従って新建物05の資料につきましては、前回からの平行な変更点としましては、まず直下地盤条件の変更に伴いまして、別紙3に載せておりました地盤の有効ひずみについて、差し替えを行っております。
0:02:34	また、今回地震応答解析モデルでは、造成モリノの部分でのひずみレベルが大きくなっておりまして、その部分につきましては側面までに考慮してないとい

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	うことだったんですがロッカー初層の部分についても、一部のひずみが大きくなっているケースがございますので、その部分については影響検討資料といったといったところで、
0:02:54	参考資料として追加させていただいております。
0:02:57	そのほか、前回いただいたコメントについては記載の充実を図っております。以上になりますよろしくお願いたします。
0:03:06	今日のタケダです。ありがとうございます。
0:03:09	それではこの資料につきまして規制庁側から確認事項ありましたらお願いいたします。
0:03:17	規制庁ハバサキです。そしたらですね、ちょっと今回提示されたひずみの分布について確認したいんですけども、44 ページ。
0:03:30	その 14 ページのSSC湾の造成モリノのひずみの分布ですので、基本的には造成森移動とその下層の比較のかたいの箇所層ですねこの場合ですと、その協会の情報は上のその境界部分がひずみが大きくなると。
0:03:50	いうことが一般的な傾向だというふうには考えてますんで、今回の結果も基本的にはそういう結果になってるんですけども、この 44 ページのSSC数のケース 2 先マイナス 3 のケースだと思うんですけども、
0:04:07	それに関して言うとですね、境界部分は必ずしも一番大きなひずみではなくて、これも急いで若干上がったところが 8.4%という形でかなり大きい図になってますんで、これについてはどういう、何か傾向分析等をされていますでしょうか。いかがでしょうか。
0:04:35	国同士でございます。こちらのほうの造成の里道部分に対しましては、今ハバサキさんから御指摘のあったところも含めましてやはりちょっとひずみ領域のほうが少し大きくなっているといったところがございます傾向的には 7%%程度ですね、リテールっていったところもございます。
0:04:53	こちらのほうに関しましては別途いろいろヒアリングの場におきましても、こちらのほうのひずみの影響度合いっていったところに関しましてご質問の方いただいているところがございます、ちょっとこちらのほうものを今ハバサキさんが御指摘のありましたちょっと上の上で、その境界部分ではなくてそれよりも、
0:05:13	23 層ぐらい高さでいきますと 50cmぐらいですけども、上のほうでやはりといったところもございますので、こちらのほうを合わせまして今ちょっと影響度合いといったところですね、逐次線形等を用いまして影響検討しているところがございますのでちょっとそちらの方ですねこの部分に対しましても考察という形のほうで

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:32	別途御提示させていただきたいというふうに思っておりますのでよろしくお願ひします。
0:05:37	規制庁川崎です。
0:05:39	今当社の回答で大体、こちらとしては、今検討中ということで理解したんですが、例えば 42 ページ、これ同じSSC湾でもプラマイゼロの決算の客への啓発に関しては、境界部分が一番大きくなってるということで、ちょっと
0:05:55	先ほど言った 44 ページのほうですねかなりひずみが進んでてちょっと解析上の問題なのか或いはオオオカの問題なのかですね、ちょっとそこら辺が確認する必要があるというふうに考えてますので、
0:06:10	それとこれマイナスのケースもつくり線形で検討されて今後結果の説明があるというふうに理解しておけばよろしいのでしょうか。
0:06:21	はい。2 船等してございますこちらのほうのマイナスの部分に対しまして別途検討の方をしてございますので、基本ケース含めたところと、あとは一番ひずみの大きいところはこの前の島が入れるといったところは当社のご指導も認識してございますので、こちらのほうを合わせた形のほうで今、
0:06:39	変更後進めてございますのでそちらのほうであわせてですね御説明させていただきたいというふうに思っております。
0:06:46	規制庁ハバサキです。わかりました。ではあの結果の説明を待つということでそういう形で対応したいと思います。
0:06:54	それは
0:06:56	よろしいですか引き続いてなんですかけれども、
0:07:01	このまあある意味記載だけの問題かもしれませんが、59 ページのほうですね、検討結果の最後の一番下のパラグラフなんですけども、要は 1%を超えていても、層が一部である場合には、
0:07:17	応答に対する影響ない耐震評価上差し支えがないと、ここで言い切ってますんで。
0:07:23	今先ほどお話あった逐次非線形の話もありますし、
0:07:28	あくまでもこの資料で検討しているのは 1%超の層に関しては側面ばねをとっぱらてるだけであって、入力動の話はまだ
0:07:38	ここでは解決してないっていうのと、あくまでもここでのケースに限定した話ですので、ちょっと今、59 ページはですね、表現この結論に関してはですね
0:07:52	ちょっと急ぎの間がありますので、ご存知だと思いますけれども弱の中で、等価線形は一応 1%で海側ですね、ある意味目安とするというような形になってますのでですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:07	巻き方の検討、今日の審査でも1%ちょっと超えたぐらいになってるんですね、8/7%8%っていう世界がなかなかとか線形で評価してるんじゃないんですね、ちょっとここら辺からイトウ。
0:08:22	丁寧にといいますか、詳細な説明のほう求めたいと思います。
0:08:26	この59ページの結論について事業者として何か考えはありますか、現段階として、
0:08:41	日本原燃、キョウダでございます。すいません御趣旨理解いたしましたのは、こちらの検討結果の記載につきましてですが、おっしゃる通り、このSC湾の6ヶ所層の一部についてのお話でございまして側面ばねに限られるような話でございまして、
0:08:59	そのような記載に修正したいと思います。以上でございます。
0:09:04	定期ハバサキ減数適正化のほうをお願いします。
0:09:08	あとすいません、非常に細かい話55ページのひずみの分布の図が出てまして、これまさに先ほどのフジノCOのマイナスαのケースなんですけども、時までですね、3%。
0:09:24	までしか書いてなくてですね、ちゃんときちんとあったようなんですね、それを表現する形で金利伊豆の分布を示してもらいたいと思います。
0:09:36	ある意味そうそれが非常に局所的だということの説明にもなりますのでですね、ちょっとこの557ページのほうですね修正のほうをしてもらいたいというふうに思いますがいかがでしょうか。
0:09:53	40年超でございますが、こちら図のヘッド辺りのスケールについて、適正化したいと思います。
0:10:02	規制庁川崎です。適正化のほうをお願いします。私の方から以上になります。
0:10:14	規制庁側からこの資料について確認事項ございますでしょうか。
0:10:21	規制庁カミデです。資料は、ちょっと戻って12ページのところなんですけど、今回堂々の取り扱いというところが変わっていて、前は接触に経営向上するってことだったんですけど。
0:10:39	考え方を接触控除しませんと。
0:10:42	ということなんですけど、次の
0:10:46	13ページの表だと
0:10:51	まず、
0:10:53	生食率に換算しない場合っていうのはこれ製のケースなんであっていいんですけど、接触率に換算する場合っていうのをわざわざ表に残している理由がよくわからないんですけど、この辺り考え方を説明いただけますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:09	日本原燃多田でございます。こちらは前回のヒアリングの際にですね接触率として加算する場合長加算した場合について、三坑どうしてどちらも示した評価というふうなと
0:11:24	コメントいただきましたのでそれを踏まえての量を示すような形にしてどちらについて、どちらの方法とったとしてね、評価手法としてわかりませんといったところを示すために、こちら記載の方さしていただいております。
0:11:41	はい、規制庁込みですおそらく前回のイトウはですね、
0:11:47	これは接触率に換算するとしていたので両方を記載してはどうかっていうことじゃないかと思しますので、方針が変わって加算しないっていうのであれば加算しない。
0:12:03	状態で10日ということだけでいいかと思しますのでこの辺、特にこだわりがなければ、不要かと思ですけど、いかがですか。
0:12:15	年々キョウダでございますかの御趣旨理解いたしましたの三坑について参考で表示させていただいてる部分については削除する形で表のほうを作成したいと思えます。
0:12:30	はい。規制庁カミデです。あと同じく13ページの表なんですけど、記載流量の問題なんですけど、次回部分のところをグレーでまあ何となく読めるような状態でも提示がされていて、
0:12:48	この辺ほかのですね、1000先週ぐらいによってヒアリングとかでもう工事管理するものをどうセットどう表現するのか、基本的には情報出してない資料が多いので、そちらに合わせるというような形で、
0:13:07	多用されるかと思っていましたけど、
0:13:12	この
0:13:13	資料はあれですかね、コメントの反映がまだできてない状態っていうふうに理解すればいいですかね。
0:13:37	日本原燃教材ございません。
0:13:41	来時間以降についての建物について、結果として、少しお見せ、
0:13:49	他方、説明性としては良いものに対してはこのようなグレーハッチングしたような形で示すといったところの方針で考えておりました。
0:14:02	これは前回のコメントを受けていただいた別の資料のコメントを受けてこのような記載にしたといったようなことでございます。
0:14:14	規制庁カミデです。そのような要綱近いで関係するものがあるっていうのは、
0:14:20	建物だけじゃなくて機電もあるし、耐震に限らず、他の条文もあるんですけど、それは全体的にこうしようっていうふうにルールを統一されているのかようなんでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:38	よく表現のフジノです。ちょっと今別紙Cについては次回含めた記載というのならCをやってるんですが、補足のほうのならばではちょちょっと手が回っていないかと認識しているので、少しそのあたり共通的なルールになるように、グレーハッチングリークならグレーハッチングするというような形にして、
0:14:58	調整を図りたいと思います。申し訳ありません。
0:15:03	規制庁カミデです。
0:15:06	ちょっと共通的に見る部門でグリップしていただければと思いますけど
0:15:14	どういう情報を事前に出したほうがいいのかって言うコマ考え方をそろえた上で、どういう表現にするのかっていうところだと思いますので、ちょっと全般的に整理をいただければと思います。
0:15:29	私のほうからは以上です。
0:15:39	規制庁のときにですねその過去の資料について確認事項がございますでしょうか。
0:15:49	よろしいでしょうか。
0:15:51	それでは日本原燃の方からこの資料についての修正方針について説明をお願いいたします。元会長囲みもお願いいたします。
0:16:02	日本原電キョウダでございます。今回いただいたコメントにつきましては、
0:16:08	参考資料としてお店しておりました。
0:16:13	／6ヶ所そう。
0:16:15	の%これについての検討につきまして、検討結果の考察について記載の適正化というところはかかろうと思います。また、
0:16:25	有効ひずみの値につきましてマイナスの埋設地側の境界部分、
0:16:32	について少し分布状況がほかのケースと違うといったところで、その部分についての考察も別資料になりますが、検討のほうで実施したいというふうに考えております。
0:16:46	また、次回以降の
0:16:49	建物の見せ方といったところで、
0:16:54	表示方法について、他の資料との整合をとりながら、記載のほうを図っていきたいと思います。
0:17:04	以上になります。また不開示情報についての発言についてはございませんでした。
0:17:10	その時です。ありがとうございます。
0:17:14	それで次の資料の(2)に進みたいと思います。
0:17:19	次の資料は耐震建物0孔の隣接建屋の表をに関する検討ですね、こちらについて文献のほうから説明をお願いいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:31	日本原燃調査でございません。
0:17:34	これ耐震建物0トガシらにつきまして全体からの変更点としましては、まず
0:17:41	いえMOXの隣接に関しまして、地盤条件をこのマックスに合わせたといったところで、隣接建屋のCBIにつきましても、じゃあの目的に合わせて表面近くの側面地盤との接続を削除して解析をやり直しました。
0:17:58	結果としましては前回までの結果とほとんど変わらないような結果となっております。
0:18:03	また、応答倍率を用いた耐震評価につきましては前回の御提示できてなかった部分がございますので、今回は反映した資料となっております。
0:18:12	また以前ハバサキさんの方からいただいたコメントで地盤インピーダンスなども資料の充実を図る上でもしたほうがいいというようなコメントをいただいておりますので、参考資料としまして、そちらのほう結果のほうのつってございます。
0:18:27	また前前回いただいたコメント部分については資料のほうの記載ほう充実を図っております。以上になります。よろしくお願ひします。
0:18:37	規制庁タケダです。ありがとうございます。それではこの資料につきまして規制庁側から確認がありましたらお願いいたします。
0:18:45	規制庁カミデです。ちょっと全般としての国庫になんですけど、
0:18:51	設工認申請書との対応でいうと、今回のこの隣接建屋の影響評価っていうのは申請書に記載、結構記載されるようなものなんでしたっけ。
0:19:05	日本原燃教材でございませぬが、こちらの添付資料のほうにも気体の方、考えております。
0:19:14	規制庁カミデです。その辺はリコーリース隣接建屋の影響については総じて申請書の添付書類の耐震計算書に乗けるとそういう認識でよろしいですか。
0:19:31	日本原燃、キョウダでございませぬ。その辺の来認識で問題でございませぬ。
0:19:37	保育規制庁カミデです。起こりますと、その辺りって今この資料上で読めるようになってますこれらの該当ページがあれば教えていただきたいんですが、
0:19:51	日本原燃等でございませぬ。また添付資料への班員ことにつきましては気体の方、ございませぬでしたので、その気体の方さしていただければと思ひます。
0:20:04	はい、規制庁カミデですか。
0:20:08	今ちょっと目についたんですけど、4ページのですね、
0:20:13	1ポツの概要の3パラ目で一方というところで、
0:20:21	設工認の添付書類の説明書では購入をしていないとかっていうのも記載もあって、基本ケースみたいなものを考慮してなくて、当Y影響標高

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:35	こういう影響評価の結構載せるってことなので、この概要のところも多分直したほうがいいですし、それ以外にも名確保すべきところがあるかと思いますので、その点、整理して販いただければと思います。
0:20:57	日本原燃でございますが、趣旨理解いたしましたので火曜と含めまして記載のほうへ修正させていただければと思いますか。
0:21:07	はい、規制庁カミデです。あとですね、
0:21:11	7 ページのところで本書の検討フローというのでこのフロア、このフローで資料の説明という意味であっていいんですけど、隣接建屋っていうものに対して全体どういうフローになってるかっていうのは、
0:21:30	資料上で示されていないので、その辺りこの資料に記載していただいでですね、全体わかるようにしてもらいたいっていうのとあと特にポイントとしては機器側とどういうとこでとり合うのかっていう。
0:21:46	ところでですね、どの検討のアウトプット機器側に渡すのかということもフローとして表現いただきたいので、その辺り情報をふやして説明いただく経理ようにしていただきたいんですけど、よろしいですかね。
0:22:04	日本原燃巨大でございます。この機器側も含めました隣接の検討フローについて、作成したいというふうに考えております。
0:22:15	はい、規制庁カミデです。あの全般としては、とりあえず以上です。
0:22:24	規制庁の武田です。その他、規制庁側から確認ございましたらお願いいたします。
0:22:31	はい、規制庁のハバサキのやつ、
0:22:34	先ほどキョウダさんの方からも説明ありましたようにこれまで否定きいしてきました内容がですね一応反映されて
0:22:42	その結果についてもですね一応確認もしまして
0:22:47	その傾向分析も含めてされてるということで確認しました。
0:22:51	そういう意味ではいいんですけども 32 ページのほう、三十二、三十 3 ページのところになんて確認といいますが、コメントがあるんですけども、まず 32 ページの一番最後の業務でして、
0:23:07	一応これ次回も含めた形での方針的な考えを一つの考え方が形成されていると思ってまして、要は隣接の考慮をすぐ立てに関しては評価対象建屋の基礎側程度概要モデル化範囲として設定しましたというか、今回して、
0:23:27	そうした部分もに関してですけども、これ前回もありましたけど例えば評価対象建屋が非常に小さくて、教習隣接の影響終了大きな建物が近くにあるような場合も、今後ですね、想定されるんですけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:44	そういう場合でもやはり評価対象建屋の基礎幅程度を班員というふうにとらえ、
0:23:51	ことで事業者としては考えているというふうに理解して行い、よろしいんでしょうか。
0:23:59	年々キョウダでございます。その部分につきましては、人 31 ページ目の 3.1 系統ん方支援検討方針の 2 パラグラフ目ですかね、なお書きのところで、なお評価対象建屋がお答え基礎のような来サーバーが
0:24:16	小さいような建屋につきましては、
0:24:19	その限りではないといいますか近傍の建屋につきましてはマツの範囲外にいてそれについては適切に考慮するといったところで考えております。
0:24:30	と違うわけです。そうすると、32 ページに書かれている最後の歳以下の文章、
0:24:38	との関係っていうのはどうなるんでしょう。
0:24:42	コメントはございません。原則的にはまず基礎幅程度考えるといったようなことで考えておまして、一方で連系外といいますか、評価対象建屋が小さいような建屋につきましては、その近傍の基礎幅でこだわら全部そこから範囲が、
0:25:00	をつけて離れるようなところについてもモデル化するというようなところを考えております。
0:25:07	規制庁幅広いする趣旨は理解しました。でもちょっと先ほどの 31 ページと 32 ページの表現が結局、どちらもみたいな形になるんでちょっと 32 ページのほうも光って当できるだけ統一的な表現のほうがいいかなっていうふうに思いますので、ちょっと
0:25:24	事務長の方ですね。適性化を考えて参りたいと思いますが、よろしいですか。
0:25:31	日本原燃なんかがございます。ご審議の方は理解いたしましたので、表現のほう適正化させていただければと思います。
0:25:39	規制庁ハバサキです。それとあと、33 ページのほうに行きますと、ご理解を向けて
0:25:46	このような条件でというような話も含めてですね、記載があるんですけども、これ次回、
0:25:54	どうなるか、その具体的なものによって変わってくるんでしょうけれども、一つの考え方を現段階としてはですね整理しておいたほうがいいという考えてますのは、複数の一つのグループの中に複数の主要なSクラスの建物がある場合の
0:26:12	地盤条件はどういうふうに設定するのか、どちらを第 1 課を代表にするのかとか或いはそれぞれの建屋の直下地盤の条件を踏まえてモデル化するのかで

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	すね、現段階としてはそんな具体的な引くことは考えられない。各種じゃないと思うんですけども。
0:26:31	だけどころ考え方っていうのが今の段階では一つでも必要かなというふうに思うんですが、
0:26:37	現状何か事業者としては考えられてますか一つのグループの中に複数のSクラス建物は存在する場合の地盤モデルの考え方。
0:26:53	機器、
0:26:56	はい、4年トガンでございます。今のハバサキさんの質問のところ、ちょっと今ちょうど今オプションとしての地盤の検討を進めているところでございますなかなか少し今即答でお答えするの難しいところでございますけども、やはり
0:27:11	超過すべきものはSクラスがそのものとしてあるのであれば、やはりその評価すべきものに対しての地盤といったところをまず優先的に考えるものというふうに考えてございます。ですので評価すべきもので三つの地盤とかに跨っている場合につきましてはこういった
0:27:29	第2回目に移行できますところのSAAB経営といったところがまさしくこれすべてがSクラスといったものになってございます。そういったところに関しましては今言動山地盤の検討を進めている中で、特に中央地盤でありますと、
0:27:44	地盤が似通ってるいしているところもございますのでそういったところに関しましてはその地盤の特徴といったところを全体的に共通的に見れるような部分があるとするならばそこを少し共通的なものとして取り扱っていくといったところを今、基本的に考えていきたいなというふうに思っているところでございます。
0:28:02	ただこの部分に関しましては、やっぱりその地盤モデルの取り扱いに関わる部分でございますのでそちらのほうの状況を踏まえた形のほうでまり査定につきましても、適切にモデル化のほうを実施していきたいというふうに考えてございます。今日で直接的な少しお答えになっておりませんが、
0:28:19	現在の共通的な考えの認識でございます。
0:28:24	規制庁ハバサキです。まさに今来次回の地盤条件についても検討中ということもありますのですねなかなか現段階での記載を具体的記載を求めるといのは難しいというの理解します。そういったもすね今回第1回申請の中ですね来時間
0:28:44	お話もここ方針的なものか比べてるわけなんで、一つの考え方、大きな意味の網掛けをするような形です記載のほう、できる範囲で、
0:28:58	可能な範囲でいいと思うんですけども、記載をして参りたいというふうに考えますが、それは可能でしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:10	はい。読めるのトガシでございますちょっと次回の部分になって参るところでございますので共通的なところとして現段階において記載できるようなところでございます。の部分につきましては可能な限りこちらのほうに記載するような形で、
0:29:28	考えたいというふうに思います。ただそういった地盤のところに関しましては、まだちょっと今現段階におきましては流動的なところがございましてそういったところで、あまりその第2回のまだ決まってないところに対して逆に記載するといったところもちょっと今回の資料としてはよろしくないというふうに思っておりますので、共通的な部分である程度確定的な部分に関しまして
0:29:48	では、可能な限り施設の形のほうで対応を図っていきたいというふうに思いますのでよろしくお願いいたします。
0:29:55	規制庁ハバサキですねはいをすることに非常に理解します。そこら辺、適切な販売を考慮してですね、構わないで結構ですので、記載のほうをしていただきたいと思います。
0:30:07	どうぞ。
0:30:08	この資料に関して、私のほうからは以上になります。
0:30:13	すいません。規制庁カミデです。ちょっと日本原燃に伺いたいんですけどテレビ会議に今、高木さんっていう方を御参加依頼をされているんですけど、関係者の方でしょうか。
0:30:33	2年ツルタですけれども、当株式表示が出てないかもしれないんですけども、三菱重工の高木さんと思います。三菱重工高木さんはですね後程お示しますと耐震建物25から27のヒアリングの部分で、
0:30:50	参加者として発話するかとセットなので、参加者参加されます。以上です。
0:30:59	はい、わかりました。それでは参加していただきます。続けてください。
0:31:08	結果、
0:31:10	規制庁届がですね。それではこの資料その他慶弔側から確認でございますでしょうか。
0:31:21	よろしいでしょうか。すいません。規制庁カミデです。この資料の49ページ。
0:31:28	なんですけど。
0:31:32	エネルギー管理か提案のか、表ですね表中の真ん中で埋め込みなしとなっているんですけど、右から2列目の埋め込み深さ
0:31:47	また練り復活を見ると7.25メートル、
0:31:53	運営とまざっているということで、これで埋め込みなしと判断した根拠みたいなところ説明いただけますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:04	日本原燃、キョウダでございます。各社のエネルギー管理建屋についてなんですが、国一部の部分につきまして、ピットとか、出ている部分がありまして、その下端部分が7.25mといったところで使ってますが基本的な部分としては、見込みがないような
0:32:21	その時ているといったようなペット
0:32:26	ものでございます。
0:32:32	規制庁カミデです。具体的に
0:32:36	図面のこの辺ですみたいのは、今わからないですかね、この資料の中では、
0:32:59	規制庁カミデです。そうするとをちょっと説明を追加していただければいいと思います。この部分だけなのでということ、であとはその考え方ですよその一部ってということがかなり定量的な言い方なので、
0:33:18	全体の何%ぐらいであれば影響しないと考えているというようなその判断の考え方を含めて情報を追加いただければと思いますけど、いかがですか。
0:33:30	はい。
0:33:31	日本原燃正田でございます。
0:33:35	ただピット部分につきましてどの部分に位置するのかまた全体に全体に占める割合といいますか。その辺も記載のほうをさせていただきまして、それを含めて埋め込みがないものと判断したといったような記載を追加させていただければと思います。
0:33:57	※がついてまで、参考としまして59ページにモデル化対象の建屋の配置図といったところで、DBの配置図がわかるような図があるんですが、
0:34:10	こちらのP本体建屋の部分の
0:34:17	何といいますか、不登校北東部分。
0:34:20	の考え人区画。
0:34:24	1スパン、円程度の部分がノピット弁といったことになってございます。
0:34:32	規制庁カミデです。例えば、この59ページのところに点線などでこの範囲がピット部分ですよと記載していただくとともに49ページの表においても、ピット部は何mで一般部は何mみたいな記載にさせていただくと。
0:34:52	全体理解できることと思いますので、ちょっと検討いただいて反映いただければと思います。
0:35:00	屋根のキョウダでございます。承知しました。
0:35:05	規制庁カミデですかと
0:35:09	大したあれでもないんですけど、先ほど耐震建物05で高次化という説明範囲、どうするかと考えてますかというお話をしましたけど認識合わせのために、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:24	少し話をするとこの資料の中でもですね、ちょっと先ほどの資料とは違っていて、例えば 37 ページみたいなものは次回のもも完全にマスクをして足さない。
0:35:40	というような対応されてますし、
0:35:44	34 ページに行くと、今グレーにはせずにですね。
0:35:51	点線で囲んだといろいろ今や使い分けをされているようすって、すべて画一的にしないといけないというわけではなくて、どういう考えでどういうものはどうやって表示するのかっていうところに応需決めて説明いただければと思いますけど認識共有のために
0:36:10	一応話をさせていただきました。
0:36:16	はい。
0:36:17	40 年キョウダとごさいません。それがもし理解いたしました。この辺りの考え方に見せ方の考え方について、当社のほうで議論しまして、期待の方策をいただければと思います。
0:36:33	はい、規制庁込みですか。やっぱり今回申請対象は冷却等々燃料加工建屋と言いつつも基本設計方針も永代対象になってるっていうことで、その基本設計方針確からしさを説明するために
0:36:48	提示すべきものを提示しなければいけないしと。
0:36:52	一方で、設計進捗によってまだ出せないものもあるという足さなくていいものもあると思いますので、きちんと切り分けをいただければと思います。
0:37:11	規制庁カミデです。私のほうからは以上です。
0:37:18	規制庁の竹川です。その他経営照合から確認ございますでしょうか。
0:37:23	規制庁ハバサキです。
0:37:26	ちょっと 1 点だけですね中身について確認したことがあるんですけども、
0:37:32	115 ページ、今回説明は追加された隣接考慮した場合のその地盤インピーダンスと入力動の比較のところですね、その方の話なんですけど、115 ページが地盤インピーダンス算定のモデルで 117 ページの入力の産経のモデルなんですけども。
0:37:51	これモデルを変えてますか。
0:37:54	具体的にはですね、評価対象建屋のモデルを書いているのか何か。
0:38:00	なんですけど、もう少し具体的に言うと、その後も御異議を設けているかどうかなんですけども、わかりになります。
0:38:08	年目キョウダでございませう。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:10	この地盤PRしたモデルにつきましては5分を設けたモデルとなっております、その入力動の検討に用いるモデルにつきましてはその答弁など何もないようなモデルとなっております。
0:38:23	規制庁ハバサキです。わかりました。それで等115と117ページのモデルでまずやっているということは内しました。はい。にしましては確かにございます。
0:38:38	規制庁タケダですねとほぼ成長は確認はよろしいでしょうか。
0:38:45	よろしければ、日本原燃の方からこの資料についての修正更新統不開示情報の発言の確認をお願いいたします。
0:38:56	日本原燃キョウダでございます。今回いただいたコメントとしましては、まず添付資料への反映目値としまして、対応部分も踏まえて記載のほうさせていただき軽微と考えております。
0:39:11	また、評価フローにつきまして機器側を含めました隣接の検討フローとしての追加していただきたと考えております。
0:39:22	はい。
0:39:23	また次回以降の隣接のグルーピングなどの考え方につきまして、次回以降の共通してやるようなことにつきましては記載の追加させていただきことを考えております。
0:39:43	。
0:39:45	あとPd建屋のピット部分の考え方について、実際の図面等、
0:39:52	どの範囲がピット部分になるのかといったところを記載のほうをさせていただきことを考えております。
0:40:00	はい。
0:40:03	以上になります高い情報につきましては、今回ございませんでした。
0:40:12	規制庁タケダです。ありがとうございます。それでは私のための06の確認の内容とさせていただきます。
0:40:20	電気ます返し建物中にですね、こちらの者について日本原燃のほうから説明をお願いいたします。
0:40:32	日本原燃の杉田でございます。耐震建物の中に一関評価用地震動に対する評価について、の資料の修正内容につきましては、資料の地区全体の4ページ目と5ページ目にですね。
0:40:49	一関東括弧鉛直の位置付け整数との違いについての記載をしております。また各各建屋の個別の評価につきまして、別紙1につきまして評価結果の記載の充実を図りました。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:12	ありがとうございます。それではこの資料について規制庁側から確認があります。お願いいたします。
0:41:31	規制庁カミデですこの資料自体に特にコメントなり確認事項があるというわけではないんですけど後程耐震建物 25 で竜巻防護ネットの一関東の話が
0:41:48	資料ありますので、そのときにあわせて両社の資料でそこがあったりというところがありますので、25 のときにこの資料も、この資料もあわせてというか、20 行のときに確認したいと思います。以上です。
0:42:10	はい。
0:42:12	規制庁、武田です。その他、規制庁側から確認等ございますでしょうか。
0:42:22	よろしいでしょうか。
0:42:24	それでは耐震取っても 12 については、今コメントはないということで確認は以上とさせていただきます。
0:42:35	続きまして、耐震建物授業 8 こちらの確認に進みたいと思います。
0:42:41	原燃の方からこの資料についての説明をお願いいたします。
0:42:47	入って日本がみホシノでございますし、耐震建物の 18 の修正箇所につきましては、各別紙のほうに記載しておりました基礎スラブの応力解析結果について直交条文の解析結果ねの差し替えを踏まえまして本文のほうで他の資料でコメントいただいた内容について反映しまして記載。
0:43:07	適正化を行っているというところになります。以上になります。
0:43:15	規制庁タケダです。ありがとうございます。それではこの資料について規制庁から確認がありましたらお願いいたします。
0:43:35	特に確認は形状がわからはございますでしょうか。
0:43:40	はい、規制庁カミデです。
0:43:43	何何度かヒアリングもしてますし、基本的に、
0:43:49	結果なり考え方をただし示してもらような資料だと思imasので現状特にコメントはなくてまた何かあればということかと思imas。
0:44:03	規制庁の時のです。それでは耐震建物の 18 の確認は以上とさせていただきます。
0:44:13	続きまして大変建物 25 ですね、こちらの確認済たいと思imas。
0:44:20	それでは日本原燃の方から耐震建物 25 についての説明をお願いいたします。
0:44:26	はい、日本原燃の方ですね耐震建物 25R 一致ですね、10 月 1 日提出資料になります。こちらのほうは中で使っているデータのほうを直下地盤モデルでのデータに見直したというのが主な修正になります。
0:44:43	以上でございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:47	規制庁タケダです。ありがとうございます。それに私とてもの 25 について規制庁側から括弧にありますようお願いいたします。
0:45:00	規制庁カミデです。
0:45:06	まず先ほどもお伝えしましたけどあの耐震建物の 12 との関係が、
0:45:13	あまりよくわかっていなくてですね、
0:45:19	耐震建物の 12 のほうだと
0:45:24	一関からの影響評価方針というところで、それなりに説明が
0:45:31	2、あとは 4 ポツで評価対象部位の抽出なり云々と。
0:45:37	いうところが本文側に記載があるんですけど、この耐震建物 25 にはそういう説明が本文範囲に特になくて、どういう関係で、Cを作っているかっていうところをまず確認させてください。
0:46:03	はい。
0:46:11	はい。日本原燃中ですか。
0:46:14	同じ一関東Cの影響評価について述べた文章ですけども、
0:46:22	ちょっと我々のほうでは、竜巻防護対策設備に特化してですね、影響評価を整備していましたが、確かにおっしゃる通り、ちょっとこっち側との書きぶりがかなり異なっているようなところがありますので、
0:46:37	あわせてる形でちょっと見直したいと思います。以上です。
0:46:51	はい、規制庁込みで、
0:46:54	この資料最初に見たときにもう建物側の資料との関係をちゃんと整理してくださいねという話をさせていただいて、ちょっと今まだまきちゃんと整理されてないような形なのでよろしくお願いします。
0:47:09	本来であれば、耐震建物の 12 の中で、このネットの話も説明できるような
0:47:17	説明した方がですね、書類の整理上はすっきりするんですけど、そうはしないという方針なので、そうしないのであればじゃどう変えて、お互いの関係性を示すかということだと思いますので特には
0:47:35	耐震建物の中には、冒頭で、もう防護ネットはの説明はしませんよと。
0:47:42	言っているのです、そうすると耐震建物の中に書いてある事項っていうのは、基本的には
0:47:49	耐震建物 25 では、その状態では引用が全然きかないので、
0:47:56	どういうふうに表示同じことを
0:47:59	2 度記載する必要もないかと思いますが、どこが一緒でどこが違うのかっていうのをちゃんとわかるような構成にしていきたいと思いますので、
0:48:09	25 に限らずですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:12	竜巻防護ネット関係で1本一通り補足説明を上げているような感じなので、そのあたり全体整理をしてください。
0:48:25	はい、日本原燃原田です。承知いたしました。全体方針述べている部分、
0:48:32	等々、今見比べてですね損がないように修正いたします。以上です。
0:48:43	規制庁※すごくありますようよろしく申し上げます。あと、
0:48:47	2週以降、
0:48:50	だと。
0:48:59	13ページのフロー図がですね、
0:49:04	まずフロー図も、基本的に本文側に記載をいただくのは、
0:49:12	いいんじゃないかと思ってますが、
0:49:16	このフローの内容自体もですね、耐震建物の12-10ページにあるようなフローとも大分違ってですね、何でこんなに違うのかなっていう形なので、そのあたりもきちんと
0:49:29	両者の仕様を見て何を説明することというところをきちんと整理いただければと思います。
0:49:40	日本のハラダです。承知いたしました。
0:49:47	規制庁カミデです。その上で13ページのフローもう直されるのかと思いますけど。
0:49:58	点線で囲んである。来て生鮮に対するフローのところ、
0:50:04	真ん中ほどに衛星すCO
0:50:07	わん派を除くって書いてあるんですけどこれSSC湾で正しかったでしたっけC4でしたっけ。
0:50:54	規制庁込みです。日本原燃聞こえてますか。
0:50:58	日本原燃並べてあつしません聞こえておりました、
0:51:02	ええとですねCバー。
0:51:05	代表かということで記載はしたと思うんですけども、これもおっしゃる通り鉛直惜しいオン
0:51:14	というところとちょっと混同してしまうところかなと思いますんで、そういったことも含めてですねちょっとフローのほうを勘違いが生じないように見直したいと思います。以上です。
0:51:27	規制庁上出です。
0:51:31	すみません、代表はって。
0:51:34	何でしたっけという目的のものでしたっけ。
0:51:39	さらに本件ながらですが体協8というのはちょっと市場大きい波という意味でちょっと発言しましたけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:47	イトウ。
0:51:50	そういう一番その影響が大きい波ということで、
0:51:56	以上です。
0:52:00	規制庁込みです。ちょっと13ページのフローもう少しわかりやすく全般、
0:52:08	整理いただければと思います某ネットは建物とまた違うっていうのであれば、
0:52:17	ここで丁寧に書いてもらうというのは、必要だと思いますけど、その一方で本文側に基本的なフローっていうのは、耐震建物の12と同じような感じかと思しますので、同じようなテンションのフローが掲載されることになると思っていますので、そのあたり修正を進めてください。
0:52:39	サイトにおいて2ハラダです。承知いたしました。
0:52:47	規制庁カミデです。私のほうからは以上です。
0:52:55	規制庁ハバサキです。ちょっと今の
0:52:58	13ページのフローの説明という形で、例えば次の14ページ、結果の案の説明もあるんですけどこれもSCCわんとそれ以外であと、今回一関-S氏C4ですね、これはちょっとフローだけじゃなくて結果の整理についてもですね、要は、
0:53:16	今これ具体的に13ページのフローの中でどういうステップ等、
0:53:25	作業っていうか、どういうプロセスでこれを検討されているのかちょっと概略を説明いただけますか。
0:53:38	日本原燃鶴田でございます。とですねちょっと先ほど来13のフローのほうの話もあったんですけども、基本的にですね等P13のフローの青い点線で囲っている部分というのがですね。
0:53:53	SSC湾へSSEからAとC3タナカの基準地震動 S_s と言っている地震は全体に対して書いてるんですけども、対する検討を示してますんで、その中で今、
0:54:08	経常SSC湾というのが代表系統を等が大きく影響があるんですよという形で比較しているのが、SSCはになります。今回ですね一応関東の地震動に対して影響を評価するにあたってですね、
0:54:25	接液湾と
0:54:29	基準地震動として評価している地震動とですね一応関東とですね、当応答を比較しまして、応答が、
0:54:38	上回っているかどうかという部分でまず見ていくという形にしております。今回の結果はですねとSS仕様の結果がですね、
0:54:48	24かな。
0:54:51	他の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:53	弟を見比べて、小さいあまり折衷案以外暴落と言ってるところよりも小さいので、SSCはによる応答による地震力っていうのはちょっと今まで検討していた部分よりも小さいんですよ。なので、折川評価と影響としては問題ありませんという形で、
0:55:11	話を持っていております。
0:55:15	以上です。
0:55:17	規制庁幅野です。日非常にわかりにくいんですね。
0:55:22	ところ 1034 ページのところですね、先ほどフローの無償化っていうのもあったんですけども、少しわかりやすく丁寧に説明をしてもらいたいというふうに思います結論は変わらないんでしょうけど、そこら辺表記のほうを記載の適正化のほうをお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。
0:55:40	日本原燃ツルタです。際の見直し及び乾式再及び説明の見直しをちょっと
0:55:47	図りたいと思います。以上です。
0:55:51	はい、規制ちやうわけです。ちょっと引き続き、何点か確認になります。12 ページのほうですぐでまず、今これネットの条線東の検討っていうのは、地盤物性のばらつきを考慮してますか。
0:56:06	そういう評価を表の中にそういうふう書いてあるんですけども、基本これネットに関しては、基礎が入っていいですか、モデルの子下端固定なんですけれども、入力動に対して地盤物性のばらつきを考慮している、そういう検討する、しているという理解でよろしいですか。
0:56:24	日本原燃ツルタですはい。ご認識でお間違いありません。以上です。
0:56:29	手帳ハバサキ件数、そうしますと先ほどのタービン建物の 12 番のほうですね、及び本体のほうは、これ、地盤物性は基本係数のみというふうにこれ 44 ページから書いてあるんですけども。
0:56:44	本体のほうは一度関東の検討っていうのは地盤物性は基本ケースもんではばらつきを考慮しているという、検討やられている。
0:56:54	そういう理解でいいですか。
0:57:00	当時、
0:57:01	日本原燃の杉田でございます。耐震建物の中につきましては、入力の委員につきましてはハバサキさんのおっしゃる通り基本係数のみの検討となっております。その次に続きましてそれで影響があるもの。
0:57:17	については地盤物性のばらつきを考慮した検定比に日倍率を掛けてるところで地盤物性のばらつきを考慮しているものとなっております。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:31	セキハバサキですわかりました。今そうするとちょっとアプローチが違うわけですね今ネットはもう応答解析の段階から、どうしてもばらつきを考慮しているということをやっているという理解でよろしいですね。
0:57:48	日本原燃つくれるセンターでございますはい、ネット側のほうはそうですね考慮している形になります。
0:57:56	わかりました飽きちゃうわけですからわかりましたのでとそこら辺もですね先ほど建物の 12 のほうに一本化するかというような話もあったんですけども、もし一本化したら、やることがネットと本体に違うようなことになると思いますので。
0:58:12	ちょっとやはり具体的には、もう少し詳細な説明のほうをですね、追加の方をしてもらいたいというふうに思います。よろしいでしょうか。
0:58:21	日本原燃ツルタでございますはい続き詳細もちょっと書くようにいたします。以上です。
0:58:27	規制庁ハバサキです。それとあと、同じ 12 ページのモデルっていう書いてある表が下のほうの評価条件基礎下端って書いてありますけれども、
0:58:37	境界条件基礎下 endpoint、これはどういう意味ですか。
0:58:59	日本去年ツルタでございますけれども、おそらく基礎固定の間違いかなと思いますねちょっと内容確認してですね記載のほうを見直したいと思います。
0:59:09	規制庁ハバサキです。
0:59:12	基礎下端固定なのか、或いは基礎上ではその柱部材の下端で固定なのか、確かそういうふうに理解したんですけども、ちょっと正確に記載のほうはしてもらいたいと思います。よろしいですか。
0:59:28	そのあたりも含めて記載を見直したいと思います。以上です。
0:59:34	規制庁ハバサキです。あとですね、同じ 12 ページのモデルの所ベースに関しては、ばらつきを考慮したケースを考慮してますということでええ記載がありました。
0:59:48	結果が 14 ページのほうにあって、表のほうにばらつきのあるなしという結果になってるんですけども、ここで言うばらつきありっていうのは、
1:00:03	プレスのばらつき等 地盤のばらつきがあるわけですけども、これはどういう組み合わせなんですか。
1:00:22	日本原燃ツルタでして、鉛直のモデルはですね現在鉛直の持って鉛直モデルにですね出す拘束プレスの効果を見込んでいなかったはずなのでちょっとこちら右の 1 の表の記載がちょっと間違っているかなと思いますのでちょっとこれ確認して、
1:00:42	修正したいと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:45	はい。ただ、is化施設ハバサキです 12 ページの表のほうを営業部に関してはプレス飛行量ならば、不要だということで理解したのと、そうすると、14 ページのばらつきのあるっていうのはこれは地盤のばらつきだけ。
1:01:03	も考慮した件数ということで、そういう理解でよろしいですね。
1:01:08	そこに 1 回御理解で間違いありません。以上です。
1:01:13	規制庁萩田です。
1:01:15	そこら辺ちよつと確認してですね保育記載それとバラつきIT基盤土はの話しもあると思うんで、その決定係数についても記載をするように、通してもらいたいと思います。よろしいでしょうか。
1:01:30	はい。意見ツルタですね締結の記載についても直視いたしました。以上となります。
1:01:39	既設ハバサキの数が私の方からこの資料に関して以上となります。
1:01:51	規制庁の武田です。その他規制庁からこれがございますでしょうか。
1:02:01	きっちり
1:02:02	KKのタケダですと、細かい点で 1 点だけなんですけれど、15 ページからある、最大加速度を
1:02:14	分母が記載されているんですけど、結構模範例ですね、SSCのですね。がZなってるんですけど、その他部位だったりUDだったりにもあるんですけど、これだけなぜセットなの。
1:02:31	かということなんですけど、これは動きでしょうか。
1:02:36	日本原燃鶴田でございます。トレセン確かですね投資SSC2 款SC管理を上げ観測変わったと思いますし、それで簡素化についてはですねと、各等についてですね
1:02:53	どうもとも部分でいくとは言ってシニア確かXYZという形で構成表記してたはずですので投下し、これは誤記ではないはずですね。
1:03:05	以上となります。
1:03:08	規制庁タケダですの公民をした動きにはないということはそれでいいんですけど、一応この資料を出てるのですねどういった記載になっているかどうか、情報を確認してもらった上で横並べとるようにお願いいたします。
1:03:23	日本原燃鶴田でございますはい、僕この資料と見比べまして表現の統一を図るようにいたします。以上です。
1:03:31	お願いいたします。
1:03:34	その他、規制庁側からの支援の下部にはございますでしょうか。
1:03:40	よろしければ、日本原燃の方からこのシェアの州政府方針と開示情報の発生原因の確認をお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:49	はい、日本原燃ハラダです。修正点としましては大きくは耐震建物の 12 がですね、に書いている内容と整合を図るように見直します。それからあと、特にフローを用いて評価してるんですけど、そのフローからどういうアウトプットを出して、どうい
1:04:08	結論に導いているのかという。結果のところですねそれが非常にわかりにくい形になってますんで、修正したいと思います。
1:04:17	あとばらつきの考慮ですね、何のばらつき考慮していくかというのも、ちょっとちぐはぐであったりしてますので、その辺も修正したいと思います。
1:04:27	それから機械情報の発話はございませんでした。以上です。
1:04:36	規制庁タケダです。ありがとうございます。
1:04:39	それでは次の資料の(2)に進みます。
1:04:43	時の資料渡し建物 26 ですね、こちらの写真について船のほうから説明をお願いいたします。
1:04:51	はい、日本原燃ハラダです。耐震建物 26R1 になります。10 月 1 日提出です。こちらの方もですね直下地盤モデルのデータを見直したというのが大きく 1 点、それからもう一つですね。
1:05:07	何本とブレースのばらつきですね、耐力のばらつきについて提起したというところが大きい修正になってます。よろしくお願ひします。
1:05:18	規制庁の武田です。ありがとうございます。それではこの資料について規制庁が行う確認がありますようお願いいたします。
1:05:28	規制庁込みです。この資料も建物側で同様のばらつきの資料があるので、説明内容とか検証やっってることに違いがないか。間違いがある場合はなぜとかわかるようにということで再度確認いただければと思いますと。
1:05:49	1. 国にしたいのが 3 ページ目の 2 ポツの検討内容の
1:05:57	1 本PRA目ですかね、最後の 4 / 炉目のところで、耐震建物 08 を呼び込んで物性値を用いるとあるんですけど。
1:06:08	ちょっと 08 を見てもですね、防護ネット用の物性値みたいな形で説明がなかったように思いますけどこの辺確認されてますか。
1:06:30	はい。
1:06:32	はい。日本向け銘柄ですとちょっとと記載があったかと思っておりましたけれども、ちょっと再度確認の上ですね、記載を見直したいと思います。以上です。
1:06:46	はい。規制庁カミデですそういった点も含めて他の資料との関係とかですね、三つ再度整理いただいて提示いただければと思いますので、よろしくお願ひします。私のほうからは以上です。
1:07:04	はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:05	規制庁ハバサキです。これも先ほどと同様ですね 9 ページ、表のところ、境界条件の表現適正化をしてください。プレスに関しては、この処理盤してはばらつきを考慮するというで理解してるんですけども。
1:07:24	次の 10 ページに結果が出てますので、ばらつきの下限と上限という形になってるんですけど、これだとプレスのばらつきの話だけなんですけれども、実際、地盤のばらつき等の重畳を考慮した結果、
1:07:40	よろしいんですね。
1:07:55	B年ツルタ別計。
1:07:58	そうですね、向上させているはずなんですけれどもちょっと記載がちょっとわかりにくく下限値を厳守という書き方がちょっとわかりにくいので、その辺り表現の方法をちょっと修正したいと思います。以上です。
1:08:11	規制庁の藤井です。すいません総合しっかりとカップリング位っていうか資料作る段階ですね理解してもらいたいというのと、あと、日別途資料になった段階でやはり加工資料だ何か結論になる前にですね。
1:08:29	どういう重畳を考えていてどういうケースがあって、決定ケースはどういう結論になりますっていうのは、ばらつきの重畳を考える場合の、これ次のやり方ですのですね、ちょっときちんとそこはわかるような
1:08:45	資料のほうを作成のほうをお願いしたいと思います。
1:08:49	よろしいでしょうか。
1:08:51	日本原燃鶴田でございますはい、承知いたしました。
1:08:57	規制庁ハードルです。この資料に関しては以上です。
1:09:06	設置のタケダです。その他、規制庁側からの資料についての確認がございませんでしょうか。
1:09:16	よろしいでしょうか。
1:09:18	それでは本件の方からこの資料の修正方針とFか地方の発言について確認をお願いいたします。
1:09:26	日本テレビハラダです。修正方針としましては先ほどと同様ですね建物が資料との横並びを図ると。
1:09:34	あと特に呼び込んでいる資料先に呼び込んでなかったんじゃないかと思うのがないんじゃないかということもあるかもしれませんのでその辺も含めて確認の上修正をするというのが大きく言って、それから洗っつきのところですね特にどういうものを、ばらつきを考えたかというのを、
1:09:51	一つ一つ明示しないとですねところまで、こちらからぼやけてしまいますので、そこを明示していくという作業をしたいと考えております。
1:10:03	非開示情報について発番はございませんでした。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:11	規制庁竹野です。ありがとうございます。
1:10:14	どうすんで、次の資料の(4)に進みます。
1:10:18	耐震建物員 17、こちらの資料について辨野から説明をお願いいたします。
1:10:28	日本原燃のハラダです。耐震建物 27R1 ですね、こちらも 10 月 1 日提出です。
1:10:34	こちらの資料につきましても、先ほど来と同様地下地盤モデルでのデータ見直しが必要な修正点になります。
1:10:44	ちょっとここですね。
1:10:49	前回のコメントが反映されていないなというところに気づいておりましたので、最初に申し上げますと、
1:10:59	何ですかね今回、水平 2 方向を考慮するかどうかをスクリーンアウトしてこうってですけれども、そのスクリーンアウトの考え方が実際に理由なんで、これがはじかれるのかっていう理由のところを実際に開始していないので、
1:11:16	こちらは申し訳ございません。
1:11:19	記載した上でですね再度提出させていただきたいと考えております。以上です。
1:11:29	規制庁タケダです。ありがとうございます。それではこの資料について規制庁側から確認あればお願いいたします。
1:11:43	部長ハバサキです。今ハラダさんの説明でスクリーンHowアウトそれだというような説明あったんですが 19 ページ見ると、一応固定局等にお答え鉛直の結果が出ているんですね、
1:12:02	だからこれシミ場所に関しては、正に方向と鉛直の組み合わせの結果がこう
1:12:09	結果、検討結果として出てるのかなというふうに理解した人たんですけども、
1:12:16	ちょっと先ほどのハラダさんの説明と違うかなと思うんですが、
1:12:20	どうということなんでしょうか。
1:12:24	日本原燃の方です。とどうということかといいますと 14 ページ目をご覧くださいなんですけれども注文ページ目にまず、第 2-1 表で、
1:12:36	まず構成部位は何ですかという表をまとめてます。そこで丸がついたのがネットの構成部品になるんですけども、それに対して水平 2 方向の検討が必要かどうかというのをまず 2-2 表でですね、スクリーンアウトしてってます。
1:12:53	ここで頭の隅部だけが残っていくんですけども、その他の部位は何で 0 からバーにしたのかということが理由が抜けていると、そこを私説明いたしました、同じくですね、2-3 表で摺りD三次元的なというところで今度、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:12	こちらが外れていくんですけれども、そこも特に理由も外しているといったところを追記するというごさいます。以上です。
1:13:22	いいですか。規制庁ハバサキです。それと私のほうから指摘したのはこういうフレーム構造に関しては、住み柱ですね、に関しては、支援要綱転職組み合わせは普通やりますので、やはり出ますかねっていう話で、
1:13:39	時再検討しますということで今回結果が組み合わせの結果
1:13:46	この 19 ページのほうに出てるから、東芝しらの検討を組み合わせの結果を、検討をされたというふうに理解してたんですけれども、
1:13:55	その理解は、
1:13:57	間違っていないですか。
1:13:59	日本原燃ツルタですね、その御理解で間違いありませんで、今ですねここで評価結果として載せているのが隅柱だけなんですけれども、それ以外の部材を取り除いた、そのそれ以外の部材については検討しませんよという形でスクリーニングアウトし、
1:14:14	明日の積み増し未来の部分ですね、先ほどハラダのほうから説明しましたけれども、その 3 社以外の部分の部材についてのスクリーニングアウトの理由をもうちょっと細かく記述しますというような形です。
1:14:30	以上となります。はい、規制庁ハバサキです。理解しました。
1:14:35	ネットほぼきちんとかうフレーム構造で住み場所については、組み合わせの影響をされたということで理解しましたので、ちょっと私気にするのは予備本体のほうも同じようなフレーム口頭ですんで、今後の説明のほうをしてもらいたいというふうに固液電のほうに行きますので、
1:14:53	理解しました。それと続いてなんですけども
1:15:00	当庫の資料の 18 ページこれは先ほどと同じ投票の話なんですけれども、ちょっと記載の境界条件の記載の方法とかは一定経過をして参りたいんですが、
1:15:11	今、今これ、
1:15:15	まず場所の検討結果検討ってこれ、地盤物性のばらつきの考慮されてますか。
1:15:24	はい。
1:15:25	日本原燃鶴田でございます。出番物性のばらつきを考慮した上で、先頭でしております。以上となります。当期規制庁ハバサキです。それは、
1:15:39	議論性を考慮した結果に対して、応答倍率を掛けるような形で考慮しているっていう理解ですか。そういうことで理解してもいいんですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:55	日本原燃鶴田でございます。とですねあの今回直下地盤でのやり直しにあたってですね地盤物性のばらつきを考慮した上で入力動を作成してそれについて統合支店系の解析をして、
1:16:11	応力解析という形に流れていますので応力解析に作用するせん断力をどうアクセスする部分ですね、やはりその過程の部分で地盤のばらつきを考慮した上でのせん断力っていうのを採用して検討を実施しているという形になります。
1:16:28	きちゃうわけです。わかりました。ちょっとそこは詳しくプロセスを説明しておいてください。というのは普通、水平 2 方向と組み合わせて議論部署のばらつきをトガシから
1:16:42	そうしないかなというふうに思ったんですね、結果的にその基本ケースのばらつき考慮したところにかけるっていう意味ではするんですけども、ちょっとアプローチが違うかなと思ったんで、質問しましたが、ちょっと今ここでやられている検討もプロセスについて詳しく
1:17:02	詰めを記載していただきたいというふうに思いますがよろしいでしょうか。
1:17:12	日本原燃ツルタですけれども、とですね、このその前段階の部分というのがですね大きく以下の耐震建物が 23 万の部分とですね
1:17:25	今ここに記載している 2 方向の結果ではあるし、23 番でやっている検討ベースに持ってきているので、23 番のほうでそのあたりもう少し詳しく書くというような形にさせていただければなと考えておりますがいかがでしょうか。
1:17:43	オフィス上部係数あの絵と 23 番の記載でもいいんですけどここには、それぞれに 13 番に書いてありますよみたいな記者Eをすることもできないですか、要はこの資料としては、
1:17:59	日本原燃鶴田でございます。すいません言葉足らずで申し訳ございませんとこちらのほうの資料、20、
1:18:06	7 番の資料のほうはですね、ではですねえと措置
1:18:11	23 番の
1:18:14	示しているプロセスでいきますと、それに言ったように、そういうような形で記載をしたいかなと考えております。
1:18:19	以上となります。はい。規制庁が減数お願いします。
1:18:24	今週に関して以上となります。
1:18:30	規制庁の武田です。当 13 ページ目のですね、当に県域影響を評価部位の抽出の(3)も
1:18:42	2 パラ目の最後の文章なんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:46	基礎スラブを抽出したっていう文章になっているんですけど、このページ以降、基礎スラブが抽出されてその影響検討を行ったっていう結果は規制がないんですけど、基礎スラブはこの資料で影響検討をするのでしょうか。
1:19:09	日本原燃鶴田でございます。すいませんと現状ですね気相の記載について抜けておりますのでこの部分のちょっと記載を追加したいと思います。以上です。
1:19:22	規制庁の武田です。わかりました。基礎スラブの追記されるということで理解しました。
1:19:29	ではこの文章は基礎スラブとあとすみませんが、
1:19:35	の記載も抜けてるんですけどそれも追記されるということでいいですか。
1:19:39	日本原燃鶴田でございます。はい。透水層堤柱についてもちょっと少し抜けておりますのでその辺含めて記載のほうを見直したいと考えております。以上です。
1:19:51	成長のタケダです。わかりました。
1:19:54	一等で、
1:19:56	最後ちょっと細かい指摘というか、
1:20:01	できなんですけれど。
1:20:03	(3)同じページの(3)の最初のパラグラフ、
1:20:08	もう抽出した結果を第2-3の表に指名するとあるんですけど、これは2-2-2-2の間違いでしょうか。
1:20:20	日本原燃鶴田でございます。申し訳ございません。このですね2ポツ1以降のですね表の呼び出しがですねちょっとそう間違っております、ほぼ
1:20:31	今御指摘あった通りでございますのでそこ以外にもですね(4)のところ、
1:20:37	後々出てます4ポツのところでもですねあの、記載の表番号の呼び出しがちょっと証書間違っておりますので、その部分も記載して適正化したいと思います。以上となります。
1:20:51	規制庁の武田です。残りますお願いします。
1:20:55	ちょっとこういった呼出の整合とかっていうのは資料提供する前によく確認するようにお願いいたします。
1:21:05	はい。
1:21:07	タケダからは以上です。
1:21:12	僕は規制庁側からこの資料についての確認がございますでしょうか。
1:21:17	はい。
1:21:22	よろしければ日本原燃のほうから、この資料の修正方針と不開示情報の発言についての確認をお願いいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:31	はい、日本原燃ハラダです。修正方針ですけれども、まずスクリーンアウトの考え方ですね、これは下記バスとそれから、やはりばらつき考慮といいますが評価の増設が少々明確でないところがありましたので、
1:21:49	ちょっとあんこの資料になります 23 のほうで詳細は述べますけれども、そちらのほうで検討した内容ですよという紐づけみたいなことを明確に記載することで、
1:22:05	どういった評価プロセスをとっているのかというのを明示していきたいと。
1:22:11	いう方向で修正いたします。それからあと、基礎スラブですね、検討結果が抜けておりましたので、追記すると。
1:22:21	いうことを考えております。
1:22:23	修正更新は以上でございます。
1:22:25	それから非開示直発言はございませんでした。以上です。
1:22:32	成長のタケダですね、2号等ございます。
1:22:36	それでは本日予定していた
1:22:40	確認する資料としては以上になります。
1:22:44	規制評価起こら全体を通して何かございますでしょうか。
1:22:57	特にないでしょうか。
1:22:59	その人間の方から何か連絡事項やするのか、確認等ございますでしょうか。
1:23:07	日本原燃特にございません。
1:23:11	規制庁の武田です。はい、わかりました。それでは本日のヒアリングとしては以上とさせていただきます。お疲れ様でした。
1:23:21	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。